令和７年度版下水道維持管理サービス向上のための
ガイドラインに掲げられた業務指標の数値

（令和８年10月）

横須賀市上下水道局

○「背景情報（ＣＩ）の構成」
　背景情報（ＣＩ）とは、地域の法制度や地理的条件、人口、施設の規模や能力等、維持管理に関する事業運営を進めて行く上での条件、環境を言います。この背景情報は全部で25項目あり、次のように分類されています。

●事業体の特徴　　９項目（事業体の名称、地方公営企業法の適用の有無、事業名、事業規模、職員数などに関する情報）
●システムの特徴　　12項目（行政区域内人口、処理区域内人口、排水人口密度、人口に対する普及率などに関する情報）
●地域の特徴　　４項目（年間降雨量、平均気温、2015年の人口を100として2045年の将来人口数、放流先水域の類型に関する各情報）

○「業務指標（ＰＩ）の構成」
　業務指標（ＰＩ）とは、提供した維持管理サービスの結果や水準を定量的に把握・評価するための指標を言います。この業務指標は全部で56項目あり、次のように分類されています。

●運転管理（管きょ）指標（Ｏｐ）　　７項目（施設の経年化率（管きょ）、管きょ調査率、管きょ改善率など効率的な管きょ施設の維持管理に関する業務指標）
●運転管理（水処理施設）指標（Ｏｔ）12項目（主要設備の経年化率、水処理プロセス余裕率、非常用時電源確保率など効率的な水処理施設の運転管理に関する業務指標）
●ユーザー・サービス指標（Ｕ）　　17項目（雨水排水整備率、法定水質基準遵守率（ＢＯＤ）、法定水質基準遵守率（ＣＯＤ）などユーザー・サービスの向上に関する業務指標）
●経営の業務指標（Ｍ）　　13項目（１人・１日当たり平均有収水量、有収率、経常収支比率など持続可能な経営に関する業務指標）
●環境の業務指標（Ｅ）　　７項目（晴天時汚水汚濁負荷除去率（ＢＯＤ）、再生水の使用率、下水汚泥リサイクル率など環境負荷低減に関する業務指標）

○「参考指標の構成」
　参考指標とは、環境対策の充実や事業の透明性向上、お客様の一層の理解促進など、より高度な政策や施策を判断する際に役立つ指標を言います。この参考指標は全部で34項目あり、次のように分類されています。

●本格的な経営分析のために必要な指標　８項目（経年施設改善率、総収支率、有形固定資産減価償却率など地方公営企業法を適用した場合における指標）
●より高度な分析のために必要な指標　　12項目（老朽管の再構築割合、管路耐震化率、浸水対策コストなど広範なユーザーに理解してもらうための指標）
●その他の有効な指標　　14項目（エネルギー原価、資格保有率、処理場修繕費など状況に応じて利用し、より精緻な業務評価ができる指標）

○「指標の優位性」
　当欄に表示された「↑」は数値が高いと優位性があることを、「↓」は数値が低いと優位性があることを表しています。
○「比較（前年度比）」
　当欄に表示された「↑」は前年度と比較して評価が上がったこと、「↓」は前年度と比較して評価が下がったこと、「→」は前年度と評価が同じであったことを表しています。
○「表中に使用する「－」の表示」
　数値がないことや該当がないことを表しています。

下水道維持管理サービス向上のためのガイドラインに掲げられた背景情報・業務指標の数値（神奈川県横須賀市）

背　景　情　報(CI)

1　事業体の特徴　（9項目）

分類番号	背景情報(CI)	算　　式	指標の優位性	施設名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単 位	比較（5－6比）	指 標 の 解 説
CI 10	事業体の名称	－	－	－	横須賀市上下水道局	横須賀市上下水道局	横須賀市上下水道局	－	－	事業体の名称
CI 20	地方公営企業法の適用の有無	－	－	－	有	有	有	－	－	地方公営企業法の適用の有無
CI 30	事業名	－	－	－	公共下水道	公共下水道	公共下水道	－	－	事業名（例：公共下水道、特定環境保全公共下水道、特定公共下水道、流域下水道など）
CI 40	事業規模	総務省「下水道事業経営指標・下水道使用料の概要」分類区分	－	－	Ab1	Ab1	Ab1	－	－	総務省「下水道事業経営指標・下水道使用料の概要」分類区分　→処理区域内人口別区分、有収水量密度別区分、供用開始後年数別区分により東京、政令指定都市を除きAa1～Ed4まで規模別に分類されています。
CI 50	職員数	－	－	－	127	120	120	人	－	本市の下水道事業に携わる職員数（下水道事業会計費弁職員数）を示しています。
CI 60	資金収支（決算収入額）	料金、企業債、国庫補助金、一般会計繰入金、その他収入	－	－	23,355,488	25,317,000	24,692,971	千円	－	下水道事業における収入額
CI 70	資金収支（決算支出額）	維持管理費、元金償還金、企業債利子、建設費、改良費	－	－	27,041,494	28,375,987	27,872,736	千円	－	下水道事業における支出額
CI 80	維持管理費		－	－	5,190,502	5,340,098	5,483,278	千円	－	下水道事業の管理運営に要する経費（人件費、動力費、薬品費、清掃費、点検調査費、補修費等）です。
CI 90	維持管理費民間委託比率	委託費 / 維持管理費 × 100	－	－	38.6	41.2	44.4	%	－	維持管理費のうち、外部委託業務に要した経費の割合を示しています。

2　システムの特徴　（12項目）

分類番号	背景情報(CI)	算　　式	指標の優位性	施設名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単 位	比較（5－6比）	指 標 の 解 説
CI 100	行政区域人口	－	－	－	371,930	367,698	363,912	人	－	横須賀市行政区域内の人口（人口は、推計人口による。）
CI 110	処理区域人口	－	－	－	365,698	361,626	358,008	人	－	公共下水道が整備され、汚水を浄化センターで処理が可能となっている区域内の人口を示しています。※推計人口による。
CI 120	排水人口密度	処理区域人口 / 処理区域面積	－	－	62.1	61.1	60.4	人/ha	－	公共下水道により汚水を排除することができる区域の、1ha（ヘクタール）の中の人口割合を示しています。※推計人口による。
CI 130	人口に対する普及率	処理区域人口 /　行政区域人口 × 100	－	－	98.3	98.3	98.4	%	－	下水道事業の進捗状況を表す指標として、横須賀市行政人口の中で下水道が使用可能な人口の割合を示しています。 ※推計人口による。
CI 140	水洗化率	水洗便所設置済人口 / 処理区域人口 × 100	－	－	96.8	96.8	96.8	%	－	公共下水道が利用可能な方一のうち、公共下水道に接続したお客様の割合を示しています。※推計人口による。
CI 150	汚水管きょ延長	－	－	－	890,036	891,116	891,305	m	－	汚水を排除するため、市内に布設された管きょ（汚水管）の延長を示しています。

分類番号	背景情報(CI)	算　　式	指標の優位性	施設名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単 位	比較(5－6比)	指 標 の 解 説
CI 160	雨水管きょ延長	－	－	－	450,863	451,694	448,951	m	－	雨水を排除するために市内に布設した管きょ(雨水管)の延長を示しています。
CI 170	合流管きょ延長	－	－	－	321,418	321,481	321,502	m	－	汚水と雨水を同一の管きょで排除する管(合流管)の延長を示しています。
CI 180	現在晴天時処理能力	－	－	－	219,900	219,900	219,900	㎥/日	－	浄化センターが一日に処理できる水処理能力を示しています。
CI 190	現在晴天時最大処理水量	－	－	－	173,620	168,280	150,624	㎥/日	－	晴天時に浄化センターに入った、日最大処理水量
CI 200	現在晴天時平均処理水量	－	－	－	133,278	136,268	129,937	㎥/日	－	晴天時に浄化センターに入った、日平均処理水量
CI 210	処理場数	－	－	－	3	3	3	か所	－	横須賀市内にある浄化センターの数

3　地域の特徴(4項目)

分類番号	背景情報(CI)	算　　式	指標の優位性	施設名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単 位	比較(5－6比)	指 標 の 解 説
CI 220	年間降雨量	－	－	下町浄化センター	1,421	1,432	1,074	mm	－	浄化センターの位置する地域の年間降雨量
		－		追浜浄化センター	1,500	1,567	1,169	mm	－	
		－		西浄化センター	1,440	1,500	1,100	mm	－	
CI 230	平均気温	－	－	下町浄化センター	19.3	18.9	18.8	℃	－	浄化センターの位置する地域の平均気温
		－		追浜浄化センター	19.5	18.3	18.1	℃	－	
		－		西浄化センター	19.3	18.4	18.1	℃	－	
CI 240	2050年度人口指数	－	－	－	70.3	70.3	70.3	%	－	2020年の人口を100とした場合の2050年の将来人口指数※国立社会保障・人口問題研究所『日本の市区町村別将来推計人口』による。
CI 250	放流先水域の類型	－	－	下町浄化センター	東京湾(13)海域B(ロ)	東京湾(13)海域B(ロ)	東京湾(13)海域B(ロ)	－	－	浄化センターで処理した水が放流される公共用水域 上町浄化センターは、令和3年7月に廃止。 同年8月から上町ポンプ場として稼働。
				追浜浄化センター	東京湾(8)海域C(イ)	東京湾(8)海域C(イ)	東京湾(8)海域C(イ)	－	－	
				西浄化センター	松越川河川C(イ)	松越川河川C(イ)	松越川河川C(イ)	－	－	

業　務　指　標(PI)

1　運転管理(管きょ)指標　(7項目)

分類番号	背景情報(CI)	算　　式	指標の優位性	施設名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単 位	比較(5−6比)	指 標 の 解 説
Op10	施設の経年化率(管きょ)	耐用年数超過管きょ延長 / 下水道維持管理延長 × 100	↓	−	21.00	21.82	25.21	%	↓	標準的耐用年数を超えている下水道施設(管きょ)の経年化の割合を表しています。
Op20	管きょ調査率	管きょ調査延長 / 下水道維持管理延長 × 100	↑	−	0.24	0.30	2.59	%	↑	下水道管きょの維持管理(点検・調査)が計画的に行われているかを示しています。
Op30	管きょ改善率	改善(更新・改良・修繕)管きょ延長 / 下水道維持管理延長 × 100	↑	−	0.06	0.06	0.06	%	→	管きょの安全性の確保のため、維持管理延長のうち、1年間で改善(更新・改良・修繕)された管きょ延長の比率を表しています。
Op40	取付け管調査率	取付け管調査か所数 / 取付け管総か所数 × 100	↑	−	0.00	0.00	0.00	%	→	取付け管について、計画的な維持管理(調査・点検)が行われているかの度合いを示しています。
Op50	取付け管改善数(10万か所当たり)	取付け管改善か所数 / 取付け管総か所数 × 10^5	↓	−	0	0	0	か所/10万か所	→	取付け管について、効率的な予防保全を行っているかの度合いを示しています。
Op60	管きょ1km当たり陥没か所数	道路陥没か所数 / 下水道維持管理延長	↓	−	0.01	0.01	0.01	か所/km	→	管きょの水密性の欠如や劣化に伴う道路陥没の割合を示しています。
Op70	管きょ1m当たり維持管理経費	維持管理管きょ費 / 下水道維持管理延長	↓	−	341	334	394	円/m	↓	管きょの調査及び修繕に係る経費をみることにより、効率的な維持管理の度合いを示しています。

2　運転管理(水処理施設)指標　(12項目)

分類番号	背景情報(CI)	算　　式	指標の優位性	施設名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単 位	比較(5−6比)	指 標 の 解 説
Ot10	主要設備の経年化率	主要設備の経過年数の総計 / 主要設備の標準的耐用年数の総計 × 100	↓	−	123.3	116.4	97.9	%	↑	標準耐用年数を超えている主要設備(①ポンプ設備、②水処理設備、③特高受変電設備、受変電設備)の経年化の割合を表しています。
Ot20	水処理プロセス余裕率	(1−現在晴天時日最大処理水量 / 現在晴天時処理能力) × 100	↑	−	21.0	23.5	31.5	%	↑	現在晴天時処理能力に対する余裕分の能力の割合を示しています。
Ot30	非常時電源確保率	非常時電源が確保できている処理場数 / 所管の全処理場数 × 100	↑	−	100	100	100	%	→	災害や事故時における、危機対応能力を示しています。
Ot40	施設の耐震化率(建築)	耐震化した建築施設数 / 耐震化が必要な建築施設数 × 100	↑	−	95.5	95.5	95.5	%	→	施設の安全性及び維持管理の安定性を示しており、地震に対して安全であるかを示しています。
Ot50	目標水質達成率(BOD)	目標水質達成回数(BOD)/ 水質調査回数(BOD) × 100	↑	下町浄化センター(三春町)	100	100	100	%	→	BOD(biochemical oxygen demand 生物化学的酸素要求量)は、水の汚濁状態を表す指標のひとつであり、1年間に実施した全水質試験(BOD)のうち、目標水質(BOD)を達成した比率を示しています。
		目標水質達成回数(BOD)/ 水質調査回数(BOD) × 100	↑	下町浄化センター(平成町)	100	100	100	%	→	〃
		目標水質達成回数(BOD)/ 水質調査回数(BOD) × 100	↑	追浜浄化センター	100	100	100	%	→	〃
		目標水質達成回数(BOD)/ 水質調査回数(BOD) × 100	↑	西浄化センター	100	100	100	%	→	〃

分類番号	背景情報(CI)	算　　式	指標の優位性	施設名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単 位	比較(5−6比)	指 標 の 解 説
Ot60	目標水質達成率(COD)	目標水質達成回数(COD)／水質調査回数(COD)× 100	↑	下町浄化センター(三春町)	100	100	100	%	→	COD(chemical oxygen demand 化学的酸素要求量)は、水の汚濁状態を表す指標のひとつであり、1年間に実施した全水質試験(COD)のうち、目標水質(COD)を達成した比率を示しています。
		目標水質達成回数(COD)／水質調査回数(COD)× 100	↑	下町浄化センター(平成町)	100	100	100	%	→	〃
		目標水質達成回数(COD)／水質調査回数(COD)× 100	↑	追浜浄化センター	100	100	100	%	→	〃
		目標水質達成回数(COD)／水質調査回数(COD)× 100	↑	西浄化センター	100	100	100	%	→	〃
Ot70	目標水質達成率(SS)	目標水質達成回数(SS)／水質調査回数(SS)× 100	↑	下町浄化センター(三春町)	100	100	100	%	→	SS(suspended solids 浮遊物質)は、水の汚濁状態を表す指標のひとつであり、1年間に実施した全水質試験(SS)のうち、目標水質(SS)を達成した比率を示しています。
		目標水質達成回数(SS)／水質調査回数(SS)× 100	↑	下町浄化センター(平成町)	100	100	100	%	→	〃
		目標水質達成回数(SS)／水質調査回数(SS)× 100	↑	追浜浄化センター	100	100	100	%	→	〃
		目標水質達成回数(SS)／水質調査回数(SS)× 100	↑	西浄化センター	100	100	100	%	→	〃
Ot80	目標水質達成率(T−N)	目標水質達成回数(T−N)／水質調査回数(T−N)× 100	↑	下町浄化センター(三春町)	100	100	100	%	→	T−N(total nitrogen 全窒素)は、水の汚濁状態を表す指標のひとつであり、1年間に実施した全水質試験(T−N)のうち、目標水質(T−N)を達成した比率を示しています。
		目標水質達成回数(T−N)／水質調査回数(T−N)× 100	↑	下町浄化センター(平成町)	100	100	100	%	→	〃
		目標水質達成回数(T−N)／水質調査回数(T−N)× 100	↑	追浜浄化センター	100	100	100	%	→	〃
		目標水質達成回数(T−N)／水質調査回数(T−N)× 100	↑	西浄化センター	−	−	−	%	−	〃
Ot90	目標水質達成率(T−P)	目標水質達成回数(T−P)／水質調査回数(T−P)× 100	↑	下町浄化センター(三春町)	100	100	100	%	→	T−P(total phosphorus 全りん)は、水の汚濁状態を表す指標のひとつであり、1年間に実施した全水質試験(T−P)のうち、目標水質(T−P)を達成した比率を示しています。
		目標水質達成回数(T−P)／水質調査回数(T−P)× 100	↑	下町浄化センター(平成町)	100	100	100	%	→	〃
		目標水質達成回数(T−P)／水質調査回数(T−P)× 100	↑	追浜浄化センター	100	100	100	%	→	〃
		目標水質達成回数(T−P)／水質調査回数(T−P)× 100	↑	西浄化センター	−	−	−	%	−	〃

分類番号	背景情報(CI)	算　　式	指標の優位性	施設名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単 位	比較(5−6比)	指 標 の 解 説
Ot100	臭気基準遵守率	基準遵守回数(臭気)／調査回数(臭気)× 100	↑	下町浄化センター(三春町)	100	100	100	%	→	1年間の臭気指数測定回数のうち、法基準値を遵守した比率を示しています。
		基準遵守回数(臭気)／調査回数(臭気)× 100	↑	下町浄化センター(平成町)	100	100	100	%	→	〃
		基準遵守回数(臭気)／調査回数(臭気)× 100	↑	追浜浄化センター	100	100	100	%	→	〃
		基準遵守回数(臭気)／調査回数(臭気)× 100	↑	西浄化センター	100	100	100	%	→	〃
Ot110	水処理電力原単位	使用電力量(水処理)／年間総汚水処理水量	↓	−	0.14	0.13	0.13	kWh/㎥	→	汚水1㎥を処理するために水処理施設で使用される電力量を示しています。
Ot120	水処理使用消毒剤原単位	年間消毒剤量／年間総汚水処理水量 × 100	↓	−	20.3	20.4	20.5	g/㎥	↓	処理水1㎥を消毒するために水処理施設で使用される消毒剤量を示しています。(なお、西浄化センターでは、紫外線消毒設備を採用しているため、消毒剤は使用しておりません。よって年間総処理水量から西浄化センターの汚水処理水量を除き算出しています。)

3 ユーザー・サービス指標 (17項目)

分類番号	背景情報(CI)	算　　式	指標の優位性	施設名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単 位	比較(5−6比)	指 標 の 解 説
U10	雨水排水整備率	整備済面積／雨水計画面積 × 100	↑	−	46.5	46.5	46.6	%	↑	雨水排除のために下水道の整備が必要な全体面積のうち整備が完了した面積の比率を示しています。
U20	法定水質基準遵守率(BOD)	法定水質基準遵守回数(BOD)／法定試験水質調査回数(BOD)× 100	↑	下町浄化センター(三春町)	100	100	100	%	→	BOD(biochemical oxygen demand 生物化学的酸素要求量)は、水の汚濁状態を表す指標のひとつであり、1年間に法律で定められ実施したBODの全水質試験のうち、BODの法定水質基準を遵守した比率を示しています。
		法定水質基準遵守回数(BOD)／法定試験水質調査回数(BOD)× 100	↑	下町浄化センター(平成町)	100	100	100	%	→	〃
		法定水質基準遵守回数(BOD)／法定試験水質調査回数(BOD)× 100	↑	追浜浄化センター	100	100	100	%	→	〃
		法定水質基準遵守回数(BOD)／法定試験水質調査回数(BOD)× 100	↑	西浄化センター	100	100	100	%	→	〃
U30	法定水質基準遵守率(COD)	法定水質基準遵守回数(COD)／法定試験水質調査回数(COD)× 100	↑	下町浄化センター(三春町)	100	100	100	%	→	COD(chemical oxygen demand 化学的酸素要求量)は、水の汚濁状態を表す指標のひとつであり、1年間に法律で定められ実施したCODの全水質試験のうち、CODの法定水質基準を遵守した比率を示しています。
		法定水質基準遵守回数(COD)／法定試験水質調査回数(COD)× 100	↑	下町浄化センター(平成町)	100	100	100	%	→	〃
		法定水質基準遵守回数(COD)／法定試験水質調査回数(COD)× 100	↑	追浜浄化センター	100	100	100	%	→	〃
		法定水質基準遵守回数(COD)／法定試験水質調査回数(COD)× 100	↑	西浄化センター	100	100	100	%	→	〃

分類番号	背景情報(CI)	算　　式	指標の優位性	施設名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単 位	比較（5－6比）	指 標 の 解 説
U40	法定水質基準遵守率(SS)	法定水質基準遵守回数(SS) / 法定試験水質調査回数(SS) × 100	↑	下町浄化センター（三春町）	100	100	100	%	→	SS(suspended solids 浮遊物質)は、水の汚濁状態を表す指標のひとつであり、1年間に法律で定められ実施したSSの全水質試験のうち、SSの法定水質基準を遵守した比率を示しています。
		法定水質基準遵守回数(SS) / 法定試験水質調査回数(SS) × 100	↑	下町浄化センター（平成町）	100	100	100	%	→	〃
		法定水質基準遵守回数(SS) / 法定試験水質調査回数(SS) × 100	↑	追浜浄化センター	100	100	100	%	→	〃
		法定水質基準遵守回数(SS) / 法定試験水質調査回数(SS) × 100	↑	西浄化センター	100	100	100	%	→	〃
U50	法定水質基準遵守率(T－N)	法定水質基準遵守回数(T－N) / 法定試験水質調査回数(T－N) × 100	↑	下町浄化センター（三春町）	100	100	100	%	→	T－N(total nitrogen 全窒素)は、水の汚濁状態を表す指標のひとつであり、1年間に法律で定められ実施したT－Nの全水質試験のうち、T－Nの法定水質基準を遵守した比率を示しています。
		法定水質基準遵守回数(T－N) / 法定試験水質調査回数(T－N) × 100	↑	下町浄化センター（平成町）	100	100	100	%	→	〃
		法定水質基準遵守回数(T－N) / 法定試験水質調査回数(T－N) × 100	↑	追浜浄化センター	100	100	100	%	→	〃
		法定水質基準遵守回数(T－N) / 法定試験水質調査回数(T－N) × 100	↑	西浄化センター	－	－	－	%	－	〃
U60	法定水質基準遵守率(T－P)	法定水質基準遵守回数(T－P) / 法定試験水質調査回数(T－P) × 100	↑	下町浄化センター（三春町）	100	100	100	%	→	T－P(total phosphorus 全りん)は、水の汚濁状態を表す指標のひとつであり、1年間に法律で定められ実施したT－Pの全水質試験のうち、T－Pの法定水質基準を遵守した比率を示しています。
		法定水質基準遵守回数(T－P) / 法定試験水質調査回数(T－P) × 100	↑	下町浄化センター（平成町）	100	100	100	%	→	〃
		法定水質基準遵守回数(T－P) / 法定試験水質調査回数(T－P) × 100	↑	追浜浄化センター	100	100	100	%	→	〃
		法定水質基準遵守回数(T－P) / 法定試験水質調査回数(T－P) × 100	↑	西浄化センター	－	－	－	%	－	〃
U70	法定水質基準遵守率(大腸菌群数)	法定水質基準遵守回数(大腸菌群数) / 法定試験水質調査回数(大腸菌群数) × 100	↑	下町浄化センター（三春町）	100	100	100	%	→	大腸菌群数は、糞便による水の汚染を示唆し、水の汚れの程度を示す指標として用いられており、1年間に法律で定められ実施した大腸菌群数の全水質試験のうち、大腸菌群数の法定水質基準を遵守した比率を示しています。
		法定水質基準遵守回数(大腸菌群数) / 法定試験水質調査回数(大腸菌群数) × 100	↑	下町浄化センター（平成町）	100	100	100	%	→	〃
		法定水質基準遵守回数(大腸菌群数) / 法定試験水質調査回数(大腸菌群数) × 100	↑	追浜浄化センター	100	100	100	%	→	〃
		法定水質基準遵守回数(大腸菌群数) / 法定試験水質調査回数(大腸菌群数) × 100	↑	西浄化センター	100	100	100	%	→	〃
U80	管きょ等閉塞事故発生件数（10万人当たり）	事故発生件数 / 下水道処理人口 × 10^5	↓	－	9.84	9.13	11.73	件/10万人	↓	管きょ等の閉塞に伴う汚水の逆流、溢流により発生した処理人口10万人当たりの事故発生件数を示しています。※推計人口による
U90	第三者人身事故発生件数（10万人当たり）	第三者人身事故発生件数 / 下水道処理人口 × 10^5	↓	－	0.27	0.55	0.00	件/10万人	↑	1年間に発生した、処理人口10万人当たりの第三者人身事故件数を表しています。※推計人口による

分類番号	背景情報(CI)	算　　式	指標の優位性	施設名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単 位	比較(5－6比)	指 標 の 解 説
U100	下水道サービスに対する苦情件数(10万人当たり)	苦情総件数 / 下水道処理人口 × 10^5	↓	－	205	192	203	件/10万人	↓	お客様からの苦情の割合を示しています。※推計人口による
U110	苦情処理率	1週間以内に処理した苦情件数 / 苦情総件数 × 100	↑	－	100	100	100	%	→	お客様からの苦情に対して、1週間以内に対処した割合を示しています。
U120	下水道使用料(一般家庭用)	各自治体の算出方法による	↓	－	2,428	2,428	2,428	円	→	1か月に20㎥を利用した時の一般家庭用下水道使用料を示しています。
U130	下水道処理人口1人当たり汚水処理費(維持管理費)	汚水処理費(維持管理費)/ 下水道処理人口	↓	－	11,869	11,863	12,346	円/人	↓	処理人口1人当たりの維持管理にかかる汚水処理費用を示すことで、維持管理に関する運営状況を示しています。
U140	下水道処理人口1人当たり汚水処理費(資本費)	資本費(汚水分)/ 下水道処理人口	↓	－	6,033	5,969	5,964	円/人	↑	処理人口1人当たりの資本費にかかる汚水処理費用を示すことで、建設改良に関する運営状況を示しています。
U150	下水道処理人口1人当たり汚水処理費	汚水処理費 / 下水道処理人口	↓	－	17,901	17,833	18,310	円/人	↓	ユーザー1人1人が年間に排出する汚水を処理するための費用を示しています。※推計人口による
U160	職員1人当たり下水道使用料収入	下水道使用料収入 / 職員数	↑	－	55,583,999	59,365,007	59,157,363	円/人	↓	職員一人当たりの生産性を表しています。
U170	職員1人当たり年間有収水量	年間有収水量 / 損益勘定職員数	↑	－	449	471	477	千㎥/人	↑	職員1人当たりの年間有収水量を示しています。この数値が高いほど職員の生産性が高いことになります。

4　経営指標　(13項目)

分類番号	背景情報(CI)	算　　式	指標の優位性	施設名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単 位	比較(5－6比)	指 標 の 解 説
M10	1人・1日当たり平均有収水量	(年間有収水量 / 年間実日数)/ 下水道処理人口	↑	－	0.30	0.30	0.30	㎥/人	→	下水道処理人口1人・1日当たりの有収水量を示しています。この数値が高いほど職員の生産性が高いといえます。
M20	有収率	年間有収水量 / 年間総汚水処理水量 × 100	↑	－	79.4	77.0	80.6	%	↑	年間の総汚水処理水量のうち、使用料徴収の対象となった水量(有収水量)の割合を示しています。
M30	経常収支比率	{(営業収益＋営業外収益)/(営業費用＋営業外費用)}×100	↑	－	102.5	105.4	103.8	%	↓	経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを表しています。
M40	繰入金比率(収益的収入)	損益勘定繰入金(雨水処理負担金実繰入額＋他会計補助金実繰入額＋他会計繰入金実繰入額＋損益勘定他会計借入金)/ 資本的収入 × 100	↓	－	12.1	14.6	14.7	%	↓	収益的収入における繰入金の依存度を表しており、下水道事業の経営状況の健全性、効率性を示す指標です。
M50	繰入金比率(資本的収入)	(他会計出資金実繰入額＋他会計補助金実繰入額＋他会計借入金)/ 資本的収入　× 100	↓	－	21.9	19.0	5.4	%	↑	資本的収入における繰入金の依存度を表しており、下水道事業の経営状況の健全性、効率性を示す指標です。
M60	使用料単価	下水道使用料収入 / 年間有収水量 × 1000	↓	－	181.5	184.9	186.1	円/㎥	↓	有収水量1㎥あたりの使用料収入で、使用料の水準を表しています。
M70	汚水処理原価	汚水処理費 / 年間有収水量 × 1000	↓	－	164.0	163.0	167.5	円/㎥	↓	有収水量1㎥あたりの汚水処理費を示しています。この数値が低いほど効率的であるといえます。
M80	汚水処理原価(維持管理費)	汚水処理費(維持管理費) / 年間有収水量 × 1000	↓	－	108.7	108.5	112.9	円/㎥	↓	有収水量1㎥あたりの維持管理にかかる汚水処理費用を示しています。この数値が低いほど効率的であるといえます。
M90	汚水処理原価(資本費)	汚水処理費(資本費) / 年間有収水量 × 1000	↓	－	55.3	54.6	54.6	円/㎥	→	有収水量1㎥あたりの資本費にかかる汚水処理費用を示しています。この数値が低いほど効率的であるといえます。

分類番号	背景情報(CI)	算　　式	指標の優位性	施設名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単 位	比較(5−6比)	指 標 の 解 説
M100	経費回収率	下水道使用料収入 / 汚水処理費 × 100	↑	−	110.7	113.4	111.1	%	↓	汚水処理に要した費用に対する下水道使用料による回収率を示しており、この数値が高いほど経営健全であり、100%が理想です。
M110	経費回収率(維持管理費)	下水道使用料収入 / 汚水処理費(維持管理費) × 100	↑	−	167.0	170.5	164.8	%	↓	汚水処理に要した費用のうち、維持管理に対する下水道使用料による回収率を示しています。この数値が高いほど経営が健全であるといえます。
M120	経費回収率(資本費)	下水道使用料収入 / 汚水処理費(資本費) × 100	↑	−	328.5	338.7	341.2	%	↑	汚水処理に要した費用のうち、資本費に対する下水道使用料による回収率を示しています。この数値が高いほど経営が健全であるといえます。
M130	要員の公務・労務災害発生件数(処理水量100万㎥当たり)	休業4日以上公務・労務災害年間発生件数 / 年間総汚水処理水量 × 10^6	↓	−	0.0	0.0	0.0	件/100万㎥	→	下水道事業における安全衛生管理状況を表しています。

5　環境指標　(7項目)

分類番号	背景情報(CI)	算　　式	指標の優位性	施設名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単 位	比較(5−6比)	指 標 の 解 説
E10	晴天時汚濁負荷削減率(BOD)	{1 − 放流水質(BOD)/流入水質(BOD)}× 100	↑	下町浄化センター(三春町)	99.0	99.0	99.3	%	↑	数値が大きいほど、浄化センターにて汚濁負荷を削減したことになり、公共用水域に与える負荷の影響が小さいことを示しています。
		{1 − 放流水質(BOD)/流入水質(BOD)}× 100	↑	下町浄化センター(平成町)	99.4	99.7	99.8	%	↑	〃
		{1 − 放流水質(BOD)/流入水質(BOD)}× 100	↑	追浜浄化センター	99.3	99.3	99.5	%	↑	〃
		{1 − 放流水質(BOD)/流入水質(BOD)}× 100	↑	西浄化センター	99.5	99.4	99.4	%	→	〃
E20	再生水の使用率	再生水利用量 / 高級処理水量 × 100	↑	下町浄化センター	10.0	9.7	9.7	%	→	1年間の処理水量に対して再生水として使用した割合を示しています。
		再生水利用量 / 高級処理水量 × 100	↑	追浜浄化センター	43.4	36.9	37.6	%	↑	〃
		再生水利用量 / 高級処理水量 × 100	↑	西浄化センター	6.0	7.3	9.9	%	↑	〃
E30	下水汚泥リサイクル率	汚泥利用量 / 発生汚泥量 × 100	↑	−	89.5	82.2	79.1	%	↓	1年間に発生した汚泥量に対し、有効利用された汚泥量の比率を示しています。
E40	処理人口1人当たり温室効果ガス排出量	下水道事業に伴う温室効果ガスCO_2換算排出量 / 下水道処理人口 × 100	↓	−	34.8	34.8	34.3	kg/CO_2/人	↑	処理人口1人当たりの温室効果ガス排出量をみることにより、環境負荷低減度を示しています。
E50	下水排出基準に対する適合率	適合件数 / 採水件数 × 100	↑	−	95	95.8	97.6	%	↑	規制対象事業場に対する年間の総採水件数における下水排除基準に適合した比率を示しています。
E60	環境基準達成のための高度処理人口普及率	高度処理実施区域内人口 / 総人口 × 100	↑	−	15.1	15.1	16.8	%	↑	高度処理施設整備の進捗度合いを示しています。
E70	合流式下水道改善率	合流式下水道改善面積(ha) / 合流式下水道区域面積(ha) × 100	↑	−	100	100	100	%	→	合流式下水道の改善率を示しています。

参 考 指 標
本格的な経営分析のために必要な指標 （4項目）

分類番号	背景情報(CI)	算　　式	指標の優位性	施設名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単 位	比較（5－6比）	指 標 の 解 説
M	自己資本構成比率	〔(自己資本金＋剰余金＋繰延収益)/負債・資本合計〕×100	↑	－	67.8	67.9	68.0	%	↑	総資本（負債及び資本）に占める自己資本の割合を示し、財務の健全性を表しています。
M	固定資産対長期資本比率	固定資産 / (固定負債＋資本金＋剰余金＋繰延収益) × 100	↓	－	102.8	102.6	102.6	%	→	固定資産がどの程度、長期資本（自己資本金（自己資本金＋剰余金））及び他人資本（借入資本金＋固定負債））によって調達されているかを示す指標です。
M	企業債償還元金対減価償却費比率	(企業債償還元金 / 当年度減価償却費) × 100	↓	－	75.7	68.6	65.6	%	↑	投下資本の回収と再投資とのバランスを表しています。
M	流動比率	(流動資産 / 流動負債) × 100	↑	－	38.8	50.7	49.0	%	↓	1年以内の短期債務に対する支払能力を表しています。